



2007年2月20日(火) 10:30-17:10

京都大学化学研究所大セミナー室(共同研究棟1F)  
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

## 概要

20世紀は石油の時代と言われた。石油化学をもとに有機化学はめざましく発展し、我々の生活を豊かにした。しかし他方、機能性材料に目を向けると、我々の身の回りは様々な無機化合物で溢れている。蛍光材料、光学材料、センシング材料、磁性材料、電子材料、電池活物質、固体触媒材料、誘電材料、……。機能性材料の主役は無機物質なのである。無機物質の合成には、高温での固相反応法のかわりに、インターカレーション、ゾルゲル法、液相析出法、電気化学的手法など、投入するエネルギーが小さい低温合成法が近年では幅広く、積極的に使われるようになってきた。このような低温合成をさらに深く追求することは、自然順応型の新しい機能性材料プロセスの開拓につながる。しかしながら、無機材料を興味の対象とする研究者は化学、材料工学、金属工学、電気・電子工学など多分野にわたっており、異なる分野間で交流する機会が有機化学に比べて希薄である。このシンポジウムでは、様々な分野の無機化学者に研究内容をお話いただき、自由な討論を通じて、主として低温合成手法に関する知識を習得(共有)し、さらに新たな研究の方向性を探るのが目的である。

会場へのアクセス [http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/kaken\\_map1.html](http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/kaken_map1.html)

**10:30-11:20 宇田哲也(京都大学大学院工学研究科)**

「固体りん酸塩電解質を用いた中温型燃料電池の開発への熱力学的アプローチ」

**11:20-12:10 下嶋敦(東京大学大学院工学系研究科)**

「有機シラン分子を用いた無機有機ハイブリッドの合成とメソ構造制御」

**13:30-14:20 垣花真人(東北大学多元物質科学研究所)**

「溶液錯体化学法による機能性無機材料の合成と高機能化」

**14:20-15:10 山田真美(東京農工大学共生科学技術研究院)**

「湿式化学プロセスによる有機無機複合ナノ粒子材料の探索」

**15:30-16:20 加藤雅恒(東北大学大学院工学研究科)**

「ソフト化学法による新しい酸化物超伝導体の探索」

**16:20-17:10 町田正人(熊本大学大学院自然科学研究科)**

「大量の酸素を吸蔵放出する希土類硫酸塩の合成と触媒応用」

参加費 無料  
当日受付  
定員 約100人

連絡先 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所  
山本真平(斉藤COE)  
電話 0774-38-4718  
shinpei@msk.kuicr.kyoto-u.ac.jp